

第3回 鹿児島港をモデル港とした
九州管内港湾における中長期ビジョンに関する勉強会
議事概要

日時：令和5年3月15日(水)10:00～12:00

場所：ライカ(Li-Ka19.20)【南国ホール 5F Room A】

【主な意見】

1)臨港道路について

- 臨港道路を整備することで渋滞緩和を図る一方、一般車両が入ってくる懸念もある。臨港道路は臨港地区の物流のためだが、プラス南北幹線道路等との連携を言葉で示すのはどうか。

2)臨海部の産業立地空間の造成について

- 工業用地の不足は長年の課題。工業用地の取得に対する企業のニーズは高いが、造成にあたっては、新規企業立地を見込んだ上で進めていく必要がある。

3)人流・賑わいについて

- 鹿児島港は、離島の住民の生活を支え、物流の拠点として重要な役目を担っている。人流・賑わいと物流の棲み分けについて配慮することは重要だと思う。

4)耐震強化岸壁の計画について

- 耐震強化岸壁の候補地案について、いくつか想定される箇所があるのではないかとと思うので、候補地については、複数案提示してもらいたい。

5)放置艇対策について

- 放置艇対策については、これから適地を検討していくので鹿児島港全体での取り組みと考えている。
- 小型船の係留施設の設置場所や、管理運営の在り方は、今後、鹿児島港の将来を考える上で、引き続き検討していく事項である。

6)その他

- 今後、予定されている事業の整備が進むと、また新たな課題が出てくると思うので、引き続き検討をお願いしたい。

(以上)